

さいと市議会だより

10月15日に開催された妻地区地域防災訓練



九月定例会の概要

平成十八年第五回定例会は九月四日に招集、九月二十八日までの会期中で、市長提出議案三十一件、報告案件二件、議員提出議案三件、継続審査を含む請願五件、陳情一件について審議を行いました。その結果、議案三十四件中、三件が同意、一件が適任、二十件が原案可決、十件が認定、請願五件中三件が採択、二件が不採択、陳情一件が採択となりました。

一般質問では、十一名の議員が登壇し、在日米軍の新田原基地への訓練移転、農業振興、行財政改革に伴う保育所の民営化等に関する質問を行いました。

なお、新田原基地対策調査特別委員会から、これまでの活動の経緯について中間報告がなされました。

主な掲載内容

- 議案審議結果・・・P2
- 一般質問・・・P2～5
- 請願・陳情の審査結果・・・P6
- 可決された意見書・・・P6
- 新田原基地対策調査
- 特別委員会中間報告・・・P6

議案審議結果

第五回定例会(九月)で審議された議案の概要と結果

- 全会一致で可決
- 賛成多数で可決

条例関係

- 西都市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正について
- (地方公務員災害補償法の改正に伴う改正)
- 西都市手数料条例の一部改正について
- (住民基本台帳法の改正に伴う改正)
- 西都市乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正について
- (健康保険法の改正に伴う改正)
- 西都市重度障害者の医療費助成に関する条例の一部改正について
- (助成対象者の居住地特別に関する規定の追加及び健康保険法の改正に伴う改正)
- 西都市立診療所の設置及び

管理に関する条例の一部改正について

- (厚生労働省の告示の廃止に伴う改正)
- 西都市国民健康保険条例の一部改正について
- (出産育児一時金の額を三十五万円に引き上げる改正)
- 西都市企業立地促進条例の一部改正について
- (工場等用地取得補助金の額を引き上げる改正)
- 西都市消防団員等公務災害補償条例等の一部改正について
- (消防組織法の改正に伴う改正)
- 西都市消防賞しゅつ金及び殉職者特別賞しゅつ金条例の一部改正について
- (消防庁消防表彰規程の一部改正に伴う改正)
- 西都市水防協議会条例の廃止について
- (事務の効率化を図るための廃止)

予算関係

平成十八年度西都市一般会計予算補正(第二号)について

- (総務費、農林水産業費など、総額一億八千四百五十三万七千円の増額補正)
- 平成十八年度西都市国民健康保険事業特別会計予算補正(第三号)について
- (共同事業拠出金など、総額一億六千七百七十五万九千円の増額補正)
- 平成十八年度西都市簡易水道事業特別会計予算補正(第一号)について
- (施設費など、総額五百三十三万円の増額補正)
- 平成十八年度西都市下水道事業特別会計予算補正(第一号)について
- (土木費など、総額六百九十七万円の増額補正)
- 平成十八年度西都市老人保健特別会計予算補正(第一号)について
- (繰出金など、総額十九万九千七百円の増額補正)
- 平成十八年度西都市介護保険事業特別会計予算補正(第一号)について
- (諸支出金など、総額一億千八百四十六万七千円の増額補正)

決算関係

- 平成十七年度西都市一般会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市下水道事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市営住宅事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市老人保健特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市介護保険事業特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市西米良村介護認定審査会特別会計歳入歳出決算について
- 平成十七年度西都市水道事業会計決算について

その他

議員提出議案

- 教育委員会委員の任命について(佐々木女子氏・新任)
- 公平委員会委員の選任について(法元加夫氏・再任)
- 公平委員会委員の選任について(田村浩肇氏・再任)
- 人権擁護委員候補者の推薦について(池田カスミ氏・新任)
- 市道路線の認定について
- ・熊野田三三線(赤池)
- ・宇戸中鶴三三線(山城)
- ・光ヶ丘団地三三線(小森)
- 住宅防音工事の迅速な対応を求める意見書(案)の提出について
- 日米地位協定の見直しを求める意見書(案)の提出について
- 地方財政の充実・強化を求める意見書(案)の提出について

一般質問

九月十一・十二・十三日に十一名の議員が発議し、市長の政治姿勢をはじめ、市政全般にわたって質問を行いました。

子育て支援と
妻保育所民営化について
新風会 田爪淑子

問 西都市の次代を担う子どもをどう育て、どのように育ててほしいかお尋ねしたい。

答 保護者が安心して働ける環境の整備、家庭の経済的負担の軽減、子育て相談などの支援事業を推進し、様々な自然体験やボランティアなどの活動体験の機会を提供して、将来を担う子どもたちが豊かな個性と感性を備え、心身ともに健全に成長することを願っている。

問 民営化の基本方針・推進計画・ガイドラインにそって現在、取り組んでいる妻保育所の現状についてお尋ねしたい。

答 施設整備については保育所周囲のフェンス設置を行う。防音機能復旧工事などの大きな工事については来年度を予定しており、費用は約四十六百万円程度になる。

推進計画は福祉事務所で見積り分析をしながら作成。行財政改革推進本部で決定し、実施計画に反映させた。検討会議に保育所長は参画していない。

受託法人は市内九箇所の社会福祉法人保育所へ連絡し説明会を開いた。公募期間は八月

二十一日から九月十五日。受託法人の選考委員は、市民団体・保護者代表・市職員など十二名程度で組織し設置したい。

保育所の引継ぎは一月から二月を予定しており、合同保育とし、引継ぎにかかる人件費は市で負担する予定である。



民営化が予定されている妻保育所

バイオマスタウン及び
西都市の活性化について
政友会 荒川敏満

問 本市を緑の油田地帯にし、植物燃料の生産、精製プラント工場を建設してはどうかと考えるが、国が打ち出しているバイオマスタウン構想について見解を伺いたい。

答 気候面でも、環境面でも適地であると考えられるので、まず、庁舎内でプロジェクトチーム

を編成し、本市の将来を見据えたうえで、着実な方向性を見いだしたい。それから、他の団体にもチームに加わってもらい、できるだけ早く国に申請できるように努力したい。

問 市とJA西都 商工会議所の融和について伺いたい。

答 西都市の活性化に向けて、意見を聞くのは大変有意義な事であるので、二者で会議がでないものか検討したい。

また、市商工観光課グリーンツーリズム推進係を中心とした農業体験、観光農園、西都牛の焼肉レストランについては、貴重なご提言として検討させていただきたい。

市街地対策については、中心市街地商店街と協議、検討し、各団体等のご意見も参考にし活性化に努めたい。



西都原の菜の花畑

西都産甘藷で作る優良な焼酎
の原産地呼称を図るべきだ
公明党 吉野元近

問 市内の焼酎工場には、新たに岩乃鶴酒造の東九州サングリーン企業団地へ進出して一年後には操業を開始される。原料となる加工用甘藷は西都産の加工用甘藷を使用している。甘藷はどのようになるのか伺いたい。

答 今回岩乃鶴酒造の進出では、できるだけ地元の加工用甘藷を使用したい。現在、市内で生産される甘藷は三千七十一トンあり、その内、焼酎加工用甘藷農家は五十一戸でその生産量は千二百七十トンである。

問 加工用甘藷の生産農家の育成について伺いたい。

答 現在の甘藷の生産農家や市役所として関係機関とも一緒に取組みたい。

問 原料用甘藷の「原産地呼称」について伺いたい。

答 原料用甘藷については、生産する台地と共に日本一おいしい甘藷である。また、焼酎の原料となる「米こうじ」も西都産のおいしい米から作る。そして、水も「清水」と書くように九州山脈から来る、「いにしえ

の水」である。ぜひともすばらしい焼酎を作っていたら、西都の銘柄となるよう要望したい。そのことから消費者から信頼される農産物に努力したい。そして原料用甘藷においても生産拡大を推進し、魅力ある甘藷生産に努めたい。

スポーツ振興について
新風会 兼松道男

問 スポーツランドに伴う宿泊施設の充実について、施設の数が少なく大きな大会の誘致が困難であると思われるが、その対策についての考えを伺いたい。

答 本市の宿泊施設の様子は今年三月末にホテルプリムロースの営業が休止されるなど、必ずしも十分なものとはなっていない現状である。大きな大会等の開催が困難な状態であるので、ホテルプリムロースの早急なる営業再開と近隣町村の宿泊施設との連携を図ることにより、ある程度の大会誘致は可能だと考えている。

問 市民体育館の駐車場が手狭であり、大きな大会開催は誘致したい状況になっている。幸い、体育館横の日本たば

ご産業所有の土地が空き地になつている。購入か借用の考えはないか伺いたい。

答 前向きに検討したい。

問 学校施設(体育館・運動場)の開放について、社会体育(スポーツ少年団)で学校の運動場が使えない実態があり、運動場以外で練習している。運動場を使用するのに社会体育、学校体育の使用基準があるのかどうか伺いたい。

答 学校教育に支障のない範囲内で年間開放しており、使用については両者で十分話し合いをしてほしい。

農業振興と一ツ瀬川

濁水対策について
政友会 北岡四郎

問 西都市の農業生産額は二百三十億円余りである。その内、園芸作物は約九十二億円、畜産物は約八十七億円であり、生産額の約七十七パーセントを占めている。そこで、耕畜連係を密にした方策を伺いたい。

答 園芸農家への堆肥舎事業はないので今後検討する。土づくりの必要性を推進する。畜産は高齢化などにより子牛生産が心配されるので、キャトルセンター事業などの計画がJ A

にあれば支援したい。

問 一・五次産業の取組みについて伺いたい。

答 カット野菜等一次加工品販売も含めた「道の駅」設置について考えていきたい。

問 水田砂利採取のあり方について伺いたい。

答 今後自然環境と調和をするよう鋭意努力していきたい。

問 一ツ瀬川濁水対策について伺いたい。

一 生態系への影響 水温低下による稲作への影響について
答 「濁水対策検討委員会」に要望したい。

二 畑地かんがい用水使用で被害が出た件について
答 関係者と協議し、対処したい。

公用車の年間経費と
葬祭場設置要綱の検討を
市民の会 中野 勝

問 小・中学校の余剰教室の活用状況について伺いたい。

答 特別教室や、多目的教室などの学校教育活動に活用している。

問 将来的に小・中一貫校も視野に入れ検討すべきではないか。

答 将来的には学校活性化の視点で小・中一貫校併設、また中学校統合を視野に入れて審議会等で十分検討する。

問 学童保育を希望者全員が受けられるような対策を講ずるべきではないか。

答 学童保育のニーズに答え今後順次整備に努めていく。

問 公用車の総数と年間の維持管理費はどの程度必要か。

答 公用車八十一台、消防自動車六十六台、貸与車十五台、計百六十二台。貸与車を除いた百四十七台の経費は、年間で約一千六百五十万円である。

問 公用車の年間稼働率はどれくらいか。

答 公用車全体平均で約八十八パーセントである。

問 原油高騰で有効活用はしているのか。

答 各課で共用し節減を図る。

問 葬祭場の設置要綱制定の考えは。

答 近隣住民の意向が尊重されるような要綱を県の指導を仰ぎながら検討したい。

問 杉安川仲島公園の河川内駐車場は、昭和六十三年に約千五百万円を投入したが、大型バスが駐車できない。何か対策はないのか。

答 マイクロバス等で来れる

よう配慮していきたい。再度県と協議を行い対応する。



河川敷駐車場(杉安川仲島)

市長の政治姿勢について
市民クラブ 浜砂松生

問 市長は、まちづくりシンポジウム」の会場において、「私は市長にさせていたたい一年半になるが、地方公務員法労働組合、議会に対しては、ちよつとやりにくい点がある。」という発言を公衆の面前でされている。私は重大な発言だと考える。市長の真意を伺いたい。

答 市として、政策を決定し、推進していくためには、市長の考えだけでなく、各方面から意見を頂き、種々検討を重ねる中で一つの方向性が定まってきたということを述べたかった

訳である。つまり、法律の解釈一つをとっても、また、政策や事業を進めていく上でも、議会や職員団体と意見が違つことがある。立場の違いを乗り越えて、議論を十分尽くす中で市民にとつて何が最善かという事を基本に、街づくりの方向を定めていきたいということが、私の真意であるので、ご理解いただきたい。

第四次行財政改革について
新風会 中武邦美

問 第四次行財政改革大綱実施計画の平成十八年度末見通しはどの様なか伺いたい。

答 大半が当初予算で見直しながされているので、概ね計画通り達成できるものと考ええる。

問 地域活性化フォーラムを実施されたが、市民の皆さんの意見、反心はどうであったかお尋ねしたい。

答 現在、担当課において、各区長及び自治公民館長の皆さんに対し、アンケートを送付し意見を伺つているので、その内容を早い時期に公表したいと考えている。

問 山間僻地の活性化対策について、どのように考えてお

られるのかお尋ねしたい。

答 様々な補助事業を活用して、シイタケ、山菜等の特用林産物やゆずの生産を振興し、山村定住者の所得向上を図りたい。

問 一ツ瀬川濁水対策について、九州電力に対策の具体的計画はないのか、また、電源交付金はどのような事業に活用されているのかお尋ねしたい。

答 一ツ瀬ダムは濁水早期排出対策として非常用放流設備やパイパストンネルなどが検討されている。

電源交付金については、これまで市道・林道の整備や東米良診療所の整備など財源として活用している。

在日米軍の新田原基地使用と妻保育所の民営化について
市民クラブ 野村隆志

問 在日米軍の新田原基地使用は、岩国や沖繩が抱えている治安や安全の問題を同時に抱えることになる。米兵と住民のトラブルが絶えない理由のひとつに日米地位協定があるが、こじつた問題を論議もせず二市三町の反対協議会を解散したのは理解できない。また、騒音の被害を受けている住民

との話し合いもせず、防衛施設庁と見返りの交渉をするのは早計ではないか。

答 安全確保や日米地位協定については一市三町と協議したい。激甚地区の話し合いは検討したい。

問 検討されている妻保育所の民営化案を見ると、建物や備品に五千万円以上の公費を使い無償で譲渡し、市有地は無償で貸付する。民間から借りている運動場等の地代は市が補助するとなっている。この内容は議会に全く知らされず、保護者の説明会や民営先の公募まで行われている。この様な優遇措置は自前で運営されている保育所と大きな格差を生じるばかりか、市民の理解が得られない。さらに保護者からは拙速すぎると苦慮が出ている。市長は市民が主役と言われるが、そこであるなら再検討すべきだ。

答 他の自治体を参考にし決定した。保護者には理解が得られるよう話し合いを持つ。

児玉実満の顕彰と活用について
市政会 内藤邦弘

問 児玉実満(こたまじつまん)は一七六五年明和二年に三

宅村の庄屋の家に生まれ、一八一三年にその当時江戸時代中頃この地域に伝わっていた遺跡や伝説、伝承を一枚の絵図にまとめた日向国神代絵図(ひゅうがのくにじんたいえず)市歴史民俗資料館蔵)を完成させその思想を記した笠狭大略記(かささたりやくき)を一八一五年に著した。その生涯をこの地の史跡の調査研究に捧げた郷土の先達であり、まさしく西都における伝承文化の中興の祖といふべき偉人であるがほとんど一般の人には知られていないのが現状である。市において、児玉実満の事歴を広く市民に知らせる顕彰や今後のまちづくりを活用していく考えはないか。

答 今後、市の広報やホームページを活用し、郷土の偉人児玉実満を幅広く市民にアピールする方向で前向きに取り組んでいく。なお、現在策定中の西都原の史跡や神話伝承地を活かした「西都市歴史を活かしたまちづくり計画」の中でも参考にしながら検討を行っている。

問 平成十一年に西都青年会議所が制作した日向国神代絵図の現代版が市内の各小中学校にあるが学校教育の中で活用していく考えはないか。

答 今後、市史資料館蔵)を完成させその思想を記した笠狭大略記(かささたりやくき)を一八一五年に著した。その生涯をこの地の史跡の調査研究に捧げた郷土の先達であり、まさしく西都における伝承文化の中興の祖といふべき偉人であるがほとんど一般の人には知られていないのが現状である。市において、児玉実満の事歴を広く市民に知らせる顕彰や今後のまちづくりを活用していく考えはないか。

答 今後、市の広報やホームページを活用し、郷土の偉人児玉実満を幅広く市民にアピールする方向で前向きに取り組んでいく。なお、現在策定中の西都原の史跡や神話伝承地を活かした「西都市歴史を活かしたまちづくり計画」の中でも参考にしながら検討を行っている。

問 平成十一年に西都青年会議所が制作した日向国神代絵図の現代版が市内の各小中学校にあるが学校教育の中で活用していく考えはないか。

答 今後、市史資料館蔵)を完成させその思想を記した笠狭大略記(かささたりやくき)を一八一五年に著した。その生涯をこの地の史跡の調査研究に捧げた郷土の先達であり、まさしく西都における伝承文化の中興の祖といふべき偉人であるがほとんど一般の人には知られていないのが現状である。市において、児玉実満の事歴を広く市民に知らせる顕彰や今後のまちづくりを活用していく考えはないか。

答 今後、市史資料館蔵)を完成させその思想を記した笠狭大略記(かささたりやくき)を一八一五年に著した。その生涯をこの地の史跡の調査研究に捧げた郷土の先達であり、まさしく西都における伝承文化の中興の祖といふべき偉人であるがほとんど一般の人には知られていないのが現状である。市において、児玉実満の事歴を広く市民に知らせる顕彰や今後のまちづくりを活用していく考えはないか。

答 今後、市史資料館蔵)を完成させその思想を記した笠狭大略記(かささたりやくき)を一八一五年に著した。その生涯をこの地の史跡の調査研究に捧げた郷土の先達であり、まさしく西都における伝承文化の中興の祖といふべき偉人であるがほとんど一般の人には知られていないのが現状である。市において、児玉実満の事歴を広く市民に知らせる顕彰や今後のまちづくりを活用していく考えはないか。

答 今後、どのような活用が考えられるか校長会等で検討・研究していく。

日向国神代絵図



米軍再編に対する基本姿勢は
日本共産党 狩野保夫

問 在日米軍の訓練移転を条件付で容認する理由に、「訓練移転は国防に関する政策に基づいたものであり、自治体はこれに協力する必要がある」と述べられている。このことは、訓練を容認するだけではなく、自治体として米軍再編計画に協力する姿勢を示されたものと理解してよいのか、見解を伺いたい。

答 国防に対する理解と協力は不可欠であり、再編計画を容認することはそのようなことだと考えている。

問 妻保育所の民営化計画に対する手法や方針の問題点を厳しく指摘する請願書や陳情書が提出されたことをどのよう受け止めておられるのか、見解を伺いたい。

答 保護者の方には理解を得るため説明会を開催してきたが、また説明が不足していたのではないかと思っている。

問 桜川ひ門下流の広場は土砂が流出し幅が狭くなっている。早急に護岸工事を行うなど、土砂の流出防止対策が求められると考えるが、見解を伺いたい。

答 土砂が堆積したために流芯が移動したことにより侵食が始まったと思われる。県は堆積土砂の除去を計画しているため、侵食の状況を見据え堤防の保護対策を要望していきたいと考えている。



護岸対策が求められる桜川ひ門下流

請願 陳情の結果 審査結果

日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願

請願者 宮崎県農民組合連合会
会長 落合幹雄
審査結果 不採択

『品目横断的経営安定対策』にかかわる請願

請願者 宮崎県農民組合連合会
会長 落合幹雄
審査結果 不採択

保育所民営化計画にかかわる請願

請願者 西都市立妻保育所
民営化を考える会
代表 鈴木秀樹
審査結果 採択

地方財政の充実・強化を求める意見書の採択を求める請願

請願者 西都市役所職員労働組合
執行委員長 兒玉尚也
審査結果 採択

市の行財政改革について慎重審議を求める請願

請願者 西都市役所職員労働組合
執行委員長 兒玉尚也
審査結果 採択

『西都市公立保育所民営化基本指針』見直しに関する陳情

陳情者 学校法人西都学園
理事長 税田啓一郎
審査結果 採択

可決された 意見書

住宅防音工事の迅速な対応を求める意見書

日米地位協定の見直しを求める意見書

地方財政の充実・強化を求める意見書

新田原基地対策 調査特別委員会 中間報告(概要)

平成十八年度における新田原基地対策調査特別委員会の活動の経過並びに結果について中間報告いたします。

四月二十七日、新田原基地対策調査特別委員会設置、昨年一市四町で結成した「在日米軍再編に係る米軍の新田原基地使用反対対策協議会以下「反対協」」との連携も図りつつ調査活動を行うことを確認した。

四月二十八日、福岡防衛施設局から訓練移転に伴う戦闘機の離着陸回数等について、「反対協」に対し具体的に説明がなされ、その内容は、従来の日米共同訓練の上限期間である年間五十六日の範囲内で実施すること、離着陸回数が最大二千四百四十回程度と想定していること、海兵隊の中継基地としての使用は考えていないこと、などであった。

五月一日、日米両政府が在日米軍再編の最終報告について合意し、翌二日、福岡防衛施設局から関係市町に対しその内容が示され、新田原基地に関する部分では、普大間飛行場の移設に伴い、有事や周辺事態などの緊急時の基地使用が強化されること、在日米軍嘉手納基地(F15)、岩国基地(F418)、三沢基地(F16)の移動訓練地とすること、訓練の形式は共同訓練とすること、夜間訓練に関しては、週二日以内、六月から九月は午後九時

それ以外の月は午後八時までとすることなどがその主なものである。

五月八日、「反対協」が開催され、国の説明は不十分であり訓練移転に反対との意思の統一がなされ、翌九日に開催した本委員会としても「反対協」の意思を了とした。

七月十日、国は、福岡防衛施設局を通じて「反対協」に対し騒音対策、事故対策、治安対策といった対応策を示してきた。

七月二十六日、本委員会としては反対の立場を堅持しながら引き続き活動していくことを確認した。

八月七日、木城町が「容認」を表明したことを受け、協議の結果、「反対協」は解散するに至った。その後、西都市長が八月十五日に、新富町長、高鍋町長が八月三十一日に、宮崎市長が九月十一日にそれぞれ、条件付容認を表明した。本市ではこの間、八月十八日と九月五日及び十八日に市長が国に対し、具体的な対応策を求め、十八項目にわたる要請書を提出した。本委員会は、その内容で回答について説明を求めた。

九月一日、本委員会は、竹園公民館にて、騒音激甚地区の園

元、赤池、今井地区の約六十名の方から直接意見を伺った。

本委員会としましては、これまで計十一回の委員会を開催し、「住民の安全、安心」の視点に立つて問題点を明らかにしてきたところであります。今後とも住民の不安を払拭できるよう、反対の姿勢を堅持しながら鋭意調査活動をしていくことを再確認したところであります。

□ お知らせ □
九月定例会の本会議内容、意見書等詳細については西都市役所ホームページ「さいと市議会」に十一月末に掲載予定です。ご了承ください。
ホームページアドレス
<http://www.city.saito.miyazaki.jp/osirase/gikai/>

— 議会報編集委員会 —

| | |
|------|------|
| 委員長 | 井上久昭 |
| 副委員長 | 狩野保夫 |
| 委員 | 田爪淑子 |
| 委員 | 北岡四郎 |
| 委員 | 内藤邦弘 |
| 委員 | 中野勝 |
| 委員 | 浜砂松生 |
| 委員 | 吉野元近 |